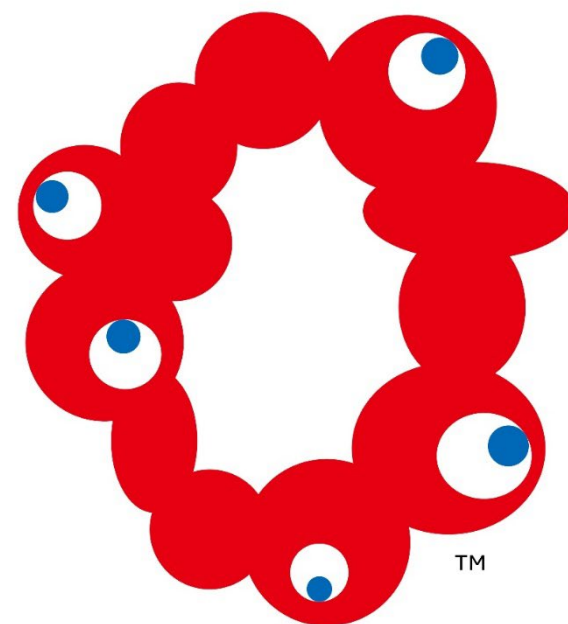


# 2025年大阪・関西万博 アクションプランVer.2 概要説明資料



OSAKA, KANSAI, JAPAN

**EXPO**  
**2025**

内閣官房 国際博覧会推進本部事務局

# アクションプランVer.2のポイント

- 2021年12月のアクションプラン策定以降、初の改訂。地元からの要望や最新の技術やサービス、イノベーションの動向などを踏まえ、既存の施策の一層の具体化と新たな施策の追加を、幅広い視点で検討。
- 今回の改訂で新たに24施策を追加登録（Ver.1 48施策→Ver.2 72施策）  
（分野別の新規施策数）
  - エネルギー・環境：3施策      ○デジタル：5施策      ○健康・医療（ライフサイエンス）：8施策
  - 観光・食・文化：4施策      ○科学技術・テーマプロジェクト等：4施策
- アクションプランVer.1に記載の施策も含めて、実装に向けた検討をより充実させるべく、アクションプランの記載項目として、施策の実施期間、実施場所、実施主体を新たに設置。
- また、施策の実装に向けた工程管理を行うべく、新たに工程表も追加。
- 今後も事業の進捗や博覧会協会・企業・地元自治体等の提案を踏まえながら、半年ごとに改訂を重ね、内容の充実を図る。その際、新たな施策の追加の検討は勿論、工程表を活用して、既存の施策の工程管理を行い、施策の実装に向けた着実な準備を進めていく。また、必要な制度整備に向けた検討の場を政府内に設けることで、検討を加速していく。

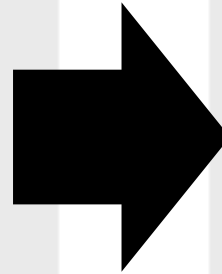
# アクションプランVer. 1

# アクションプランVer.2

※ 1) No.1\_モビリティからNo.6\_科学技術・テーマプロジェクト等へ移動。

## No.1\_モビリティ（6施策）

- 次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト（経済産業省）、空飛ぶクルマの実現に向けた環境整備の推進（国土交通省）
- 自動配送ロボットのサービス提供（経済産業省）
- ロボットフレンドリーな環境の実現（経済産業省）（※ 1）
- 電動車の活用拡大（環境省・国土交通省）
- MaaSなどの新たなモビリティサービスの推進（国土交通省）
- 自動運転の一層の推進（デジタル庁、内閣府、警察庁、総務省、経済産業省、国土交通省）



## No.1\_モビリティ（5施策）

- 次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト（経済産業省）、空飛ぶクルマの実現に向けた環境整備の推進（国土交通省）
- 電動車の活用拡大（環境省・国土交通省）
- MaaSなどの新たなモビリティサービスの推進（国土交通省）
- 自動運転の一層の推進（デジタル庁、内閣府、警察庁、総務省、経済産業省、国土交通省）
- 自動配送ロボットのサービス提供（経済産業省）

## No.2\_エネルギー・環境（14施策）

- 水素発電技術の実証等（経済産業省）
- アンモニア発電技術の実証（経済産業省）
- 2030年度目標及び2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素先行地域の実現（環境省）
- CO<sub>2</sub>の分離・回収技術の実証（経済産業省）
- CO<sub>2</sub>排出削減・固定量最大化コンクリートの実証（経済産業省）
- バイオマス由来の生分解性容器の循環処理・資源化に関する実証（経済産業省）
- 内航船の革新的な運航効率化に関する実証（国土交通省・経済産業省）
- 行動変容を促すナッジ実証（経済産業省）
- 資源循環に関する実証・展示（経済産業省）
- 次世代型太陽電池の開発推進（経済産業省）
- サーキュラーエコノミーの実現（環境省）
- 大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの実現（環境省）
- 建築物等の脱炭素化・レジリエンス強化促進事業（環境省）
- 木材利用拡大の促進（農林水産省）



## No.2\_エネルギー・環境（17施策）

- 水素発電技術の実証（経済産業省）
- アンモニア発電技術の実証（経済産業省）
- 2030年度目標及び2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素先行地域の実現（環境省）
- CO<sub>2</sub>の分離・回収技術の実証（経済産業省）
- CO<sub>2</sub>排出削減・固定量最大化コンクリートの実証（経済産業省）
- 内航船の革新的な運航効率化に関する実証（国土交通省・経済産業省）
- 次世代型太陽電池の開発推進（経済産業省）
- 建築物等の脱炭素化・レジリエンス強化促進事業（環境省）
- 木材利用拡大の促進（農林水産省）
- 次世代グリーンデータセンター技術の発信（経済産業省）
- 再エネ水素を使ったメタネーション実証（環境省）
- サーキュラーエコノミーの実現（環境省）
- 循環に関する展示体験（日本館）（経済産業省）
- 資源循環に関する実証・展示（経済産業省）
- バイオマス由来の生分解性容器の循環処理・資源化に関する実証（経済産業省）
- 行動変容を促すナッジ実証（経済産業省）
- 大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの実現（環境省）

## No.3\_デジタル（3施策）

- Beyond 5G ready ショーケースの実現（総務省）
- 多言語翻訳技術の高度化（総務省）
- 地域データの可視化によるデータ連携・データ利活用の推進（内閣府地方創生推進事務局）

5 施策増

## No.3\_デジタル（8施策）

- Beyond 5G ready ショーケースの実現（総務省）
- 多言語翻訳技術の高度化（総務省）
- 地域データの可視化によるデータ連携・データ利活用の推進（内閣府地方創生推進事務局）
- デジタル田園都市国家構想に関連するデジタル実装モデルの海外発信・展開（内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局）
- デジタルツインを活用した次世代エンタメ・サービス（経済産業省）
- 万博会場を活用した先端テクノロジーの実証（経済産業省）
- 大阪・関西万博と連携したeスポーツの発信（経済産業省）
- デジタル学園祭&未来創造コンテスト（仮称）（経済産業省）

## No.4\_健康・医療（2施策）

- 医療機器等における先進的研究開発・開発体制強靱化事業（経済産業省）
- 優良なアイデア・事業の審査への参画（ヘルスケアビジネスコンテストの開催）（経済産業省）

8 施策増

## No.4\_健康・医療（ライフサイエンス）（10施策）

- 再生・細胞医療・遺伝子治療分野の情報発信（厚生労働省）
- 医療機器等における先進的研究開発・開発体制強靱化事業の採択者による体験コーナー（経済産業省）
- 日本の先進的な医薬品等の情報発信（厚生労働省）
- 障害者自立支援機器等開発促進（厚生労働省）
- 優良なアイデア・事業の審査への参画（ヘルスケアビジネスコンテストの開催）（経済産業省）
- Personal Health Record（PHR）を活用した万博体験（経済産業省）
- 介護ロボット等テクノロジーの普及（厚生労働省）
- スマート・ライフ・プロジェクト～健康寿命を延ばそう！～（厚生労働省）
- 認知症バリアフリーの取組推進（厚生労働省）
- 世界にユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を発信（厚生労働省）

# アクションプランVer. 1

## No.5\_観光・食・文化（12施策）

- DXの推進による観光サービスの変革と観光需要の創出（観光庁）
- 大阪・関西万博の機会を活用した訪日プロモーション（観光庁）
- 日本文化の魅力発信等の拡充（文部科学省）
- 未来社会・フューチャーライフに向けた被災地の復興や食文化の情報発信（復興庁・経済産業省）
- 日本食文化・農泊体験の発信（農林水産省）
- 増大する食料需要等に応える代替肉・代替飼料などのフードテック新事業創出の推進（農林水産省）
- 食品ロス削減の普及啓発（消費者庁）
- 「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた持続可能型農業の実証モデル構築（農林水産省）
- 月面等における長期滞在を支える高度資源循環型食料供給システムの開発（農林水産省）
- 食品ロス削減に向けた飲食物の食べきり、フードシェアリングの徹底等の運動推進（農林水産省）
- 日本産酒類の情報発信（財務省）
- クールジャパンの総力を結集した機運の醸成と戦略の改定（内閣府知的財産戦略推進事務局）

4 施策増

## No.6\_科学技術等（11施策）

- 情報統合研究事業 ガーディアンロボット（次世代ロボットの研究開発）（文部科学省）
- 防災DXを活用した博覧会会場での実証試験（文部科学省）
- リモートセンシング技術による高精度データの収集・分析・配信技術の開発（総務省）
- 被災地から生まれる未来社会に向けた最新技術の情報発信（※2）（復興庁・経済産業省）
- 緊急事態対処における無人航空機の活用及び有人機・無人機連携技術の研究（警察庁）
- 海洋関係の取組発信（内閣府総合海洋政策推進事務局）
- 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局）
- ムーンショット型研究開発制度（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局）
- スマート×グリーン技術の実証（農業）（農林水産省）
- スマート×グリーン技術の実証（林業）（農林水産省）
- スマート×グリーン技術の実証（水産業）（農林水産省）

4 施策増

# アクションプランVer.2

※1) No.1\_モビリティからNo.6\_科学技術・テーマプロジェクト等に移動。

※2) No.6\_科学技術等からNo.5\_観光・食・文化に移動。

## No.5\_観光・食・文化（17施策）

- 地域ツーリズム促進事業（内閣官房国際博覧会推進本部事務局）
- DXの推進による観光サービスの変革と観光需要の創出（観光庁）
- 大阪・関西万博の機会を活用した訪日プロモーション（観光庁）
- 未来社会・フューチャーライフに向けた被災地の復興や食文化の情報発信（復興庁・経済産業省）
- 日本食文化・農泊体験の発信（農林水産省）
- 増大する食料需要等に応える代替肉・代替飼料などのフードテック新事業創出の推進（農林水産省）
- 食品ロス削減の普及啓発（消費者庁）
- 食品ロス削減に向けた飲食物の食べきり、フードシェアリングの徹底等の運動推進（農林水産省）
- 「みどりの食料システム戦略」の実現に向けたプロジェクト（農林水産省）
- 月面等における長期滞在を支える高度資源循環型食料供給システムの開発（農林水産省）
- 日本の食文化の発信（文部科学省）
- 日本産酒類の情報発信（財務省）
- 被災地から生まれる未来社会に向けた最新技術の情報発信（復興庁・経済産業省）（※2）
- 「日本博2.0」の展開（文部科学省）
- クールジャパンの総力を結集した機運の醸成と戦略の改定（内閣府知的財産戦略推進事務局）
- 日本のアニメ等のコンテンツの対外発信（経済産業省）
- 日本の工芸品の対外発信（経済産業省）

## No.6\_科学技術・テーマプロジェクト等（15施策）

- テーマWeekプロジェクト（内閣官房国際博覧会推進本部事務局）
- 情報統合研究事業 ガーディアンロボット（次世代ロボットの研究開発）（文部科学省）
- ロボットフレンドリーな環境の実現（経済産業省）（※1）
- 防災DXを活用した博覧会会場での実証試験（文部科学省）
- リモートセンシング技術による高精度データの収集・分析・配信技術の開発（総務省）
- 緊急事態対処における無人航空機の活用及び有人機・無人機連携技術の研究（警察庁）
- ムーンショット型研究開発制度（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局）
- 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局）
- スマート×グリーン技術の実証（農業）（農林水産省）
- スマート×グリーン技術の実証（林業）（農林水産省）
- スマート×グリーン技術の実証（水産業）（農林水産省）
- 海洋関係の取組発信（内閣府総合海洋政策推進事務局）
- I-OPENプロジェクト（知的財産の活用による社会課題解決）（経済産業省）
- 万博会場を活用した未来思考の中小企業の魅力・価値の発信（経済産業省）
- 女性活躍推進館（仮称）出展事業（内閣府男女共同参画局、経済産業省）

# **アクションプランVer. 2からの新規施策例 (内閣官房国際博覧会推進本部事務局)**

# テーマWeekプロジェクト

連絡先 内閣官房国際博覧会推進本部事務局  
03-3519-3613

## > 方針・実施概要

万博では、来場者に展示をPRする従来の仕組みに加え、BtoB向けや特定のテーマに絞った双方向のフォーラムなどを実施することが世界的なニーズとして高まっている。こうしたトレンドを捉え、世界的に直面している重要な課題について対処すべく、世界の有識者やビジネスパーソン、市民団体や文化人などによる直接的なメッセージの発信や双方向の交流を目的とし、博覧会協会が「テーマWeekプロジェクト（仮称）」を実施する。具体的には会期中、数週間ごとにテーマを設定し、課題解決に向けた検討を行うフォーラム等を開催する。公式参加国や民間企業等の参加を想定しているほか、政府としても、ヘルスケアやサーキュラーエコミー、復興等、各テーマに合わせ企画を立案し、フォーラムなどの開催のほか、会場外で開催される国際会議を積極的に誘致し、連携を検討する。



## > 実装に向けた検討状況

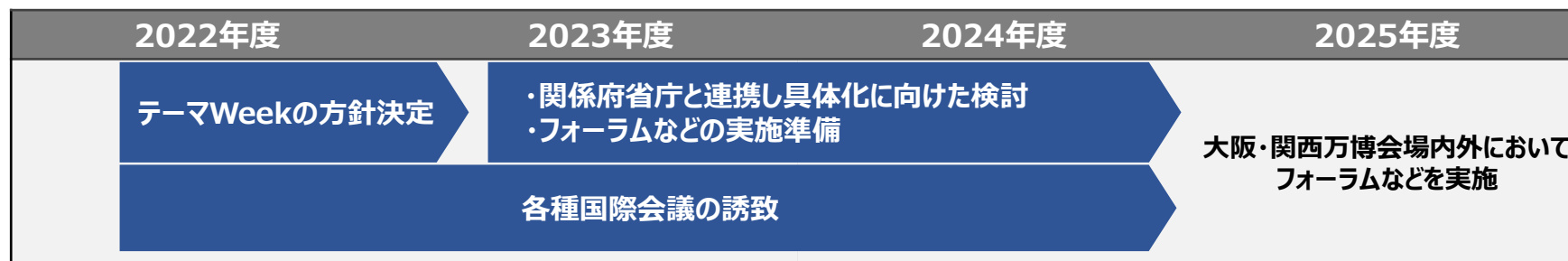
(実施期間) 令和4年度～

(実施場所) 会場内（催事場、パビリオン等）、会場外、オンライン

(実施主体) 経産省、環境省、復興庁などのアクションプランを実行する各関係府省庁

(予算) -

### > 工程表





# 地域ツーリズム促進事業

## > 方針・実施概要

大阪・関西万博では、大阪・関西のみならず日本全国でも万博のテーマやコンセプトに即した様々な取り組みを実施する。具体的には、会場である夢洲での展示などだけでなく、デジタルコンテンツ等も活用することで、日本全国に旅客を送り、各地で食や文化の体験や滞在をしてもらうことにより、日本の各地域の魅力の認知を図り、様々な地域振興につなげる。

大阪・関西万博を機に、日本食、日本産酒類、農泊、復興など、各省庁が取り組んでいる振興策を連携させ、博覧会協会の「万博来訪者地域誘客モデル事業（仮称）」とも連携することで、地域ごとにパッケージ化したユニークなストーリーを持つ観光コンテンツを作り出し、万博の誘客効果を日本の各地域に波及させる。

## > 実装に向けた検討状況

(実施期間) 令和4年度～

(実施場所) 会場内：関連施策を実施する省庁のブース。会場外：国内各地域。

(実施主体) 関連施策を実施する各省庁

(予算) 令和4年度予算額：調整中

連絡先 内閣官房国際博覧会推進本部事務局  
03-3519-3613



## > 工程表

